国土交通省
Ministry of Land,Infrastructure,Transport and Tourism

東北地方整備局新聞

第7号
2025年(令和7年)
12月22日

発行所　国土交通省東北地方整備局　〒980-8602　宮城県仙台市青葉区本町3-3-1　仙台合同庁舎B棟　電話022-225-2171(代表)　https://www.thr.mlit.go.jp/

令和9年度採用に向けた試験日程が決定

令和8年度内に実施される国家公務員試験の日程が人事院より発表されました。試験日程は今年度とほぼ同日程となり、一般職試験（大卒程度試験）は2月19日(木)から申し込み開始です。

これまでの試験との大きな変更点として、総合職試験大卒程度試験の「教養区分」は、春と秋の2回受験が可能となりました。

試験の流れは、下図のとおりとなっており、申込期間は約1カ月と短いため、忘れずに申し込みをしてください。

◇◆申込受付期間

◇一般職試験
（大卒程度試験）
・2月19日(木)～3月23日(月)まで

◇総合職試験
（院卒・大卒程度試験）
・2月2日(月)～2月24日(火)まで

※公務員採用試験の詳細については、人事院HPの国家公務員試験採用情報NAVIに掲載予定です。

試験採用情報NAVI ↓↓↓↓↓

試験の流れ

総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）		一般職試験（大卒程度試験）	
申込受付期間	2/2（月）～2/24(火)	申込受付期間	2/19(木)～3/23(月)
第1次試験（学科試験）	3/15(日)	第1次試験（学科試験）	5/31(日)
第1次試験合格発表	3/30(月)	第1次試験合格発表	6/24(水)
第2次試験（筆記試験）	4/12(日)		
第2次試験（面接試験等）	4/20(月)～5/15(金)	第2次試験（面接試験）	7/8（水）～7/24(金)
最終合格発表（人事院）	5/29(金)	最終合格発表（人事院）	8/12(水)
採用面接	5月下旬頃	採用面接	8月中旬頃

※教養区分は秋も実施

内定

秋田県

冬の安全な交通確保へ準備！『除雪車出動式』

東北地方整備局では降雪前から雪への備えを進めており、「雪から国民生活を守る」という決意を皆で新たにするため、東北地方整備局の職員と除雪作業を委託している建設業者と共に「除雪車出動式」を開催しています。10月17日の山形県月山道路を皮切りに、東北各地で開催しています。

今回はその中でも秋田県にある大館防災ステーションで行われた出動式の様子をお届けします。

大館防災ステーションでは秋田自動車道の蟹沢IC～小坂北IC間の約54㎞の除雪を行っています。除雪作業は24時間体制で任務にあたる大変な仕事ですが、地域を守る重要な任務です。

除雪オペレーターが、機械の点検をした後、颯爽と除雪機械に乗り込み、除雪作業の絶対安全を誓い次々と出動しました。

◇◆◇◆釈迦内小学校の◇◆◇◆皆さんと勉強会◇◆◇◆

除雪車出動式には、近くの大館市立釈迦内小学校の3年生25名を招いて、除雪に関する勉強会を併せて開催しました。

勉強会では、東北地方整備局の若手職員による、除雪作業の目的に関するパネルやクイズのほか、除雪作業で散布している凍結抑制剤の効果を体感してもらうためにバケツに張った氷に凍結抑制剤を掛けて、氷が融ける様子の観察を行いました。

▲子供たちに仕事の説明を行う若手職員

（上）凍結抑制剤の実験
（下）除雪機械乗車体験

生徒からは「凍結抑制剤は一回でどれくらい使うの？」、「なんで車は黄色？」など、様々な質問が飛び出し、興味を持って楽しく学ぶ姿を見ることができました。

宮城県

堤防整備合同完成式を開催 ～粕川地区復興まちづくり～

「台風19号による吉田川堤防決壊」

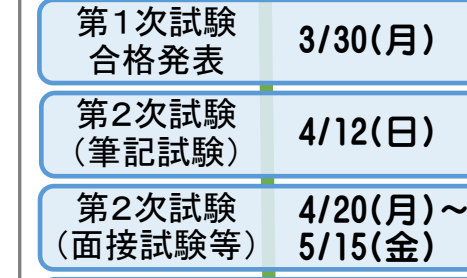
令和元年10月に発生した台風19号は12日深夜に宮城県に接近し、記録的な大雨をもたらしました。これにより吉田川中流に位置する宮城県大郷町中粕川地区において堤防が決壊し、周辺に甚大な浸水被害を及ぼしました。

「復旧・復興に向けて」

東北地方整備局では、堤防の本復旧にあたり、堤防の復旧だけでなく、地域の復興まちづくりと一緒になった復旧を実施しました。

具体的には、堤防を従来よりも外側に築き、川幅を広げたり、河川内の土砂を掘削して、水が流れる面積を広くすることにより、同程度の雨が降っても吉田川が氾濫しないようにしました。

また、国の工事で発生した土砂を大郷町の宅地かさ上げや防災コミュニティセンターの整備に使用するなど、お互いに連携して整備を進めてきました。



▲「粕川地区復興まちづくり・堤防整備合同完成式」の様子

令和7年10月12日に大郷町と国土交通省の合同で「粕川地区復興まちづくり・堤防整備合同完成式」を開催しました。

コラム　徹頭徹尾

◇◆テレワーク月間

ワークライフバランスの取り組みの一環として、11月はテレワーク月間として取り組みました。

テレワークのメリットは柔軟な働き方の実現、通勤時間の削減、業務効率の向上といった効果が挙げられます。

働く、を変える
テレワーク月間